



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月8日

上場会社名 カネソウ株式会社  
 コード番号 5979 URL <http://www.kaneso.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名  
 TEL 059-377-4747

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,447	3.6	81	112.0	62	193.8	36	583.0
2019年3月期第2四半期	3,326	2.1	38	97.1	21		5	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	25.46	
2019年3月期第2四半期	3.73	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,497	13,579	87.6
2019年3月期	15,701	13,650	86.9

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 13,579百万円 2019年3月期 13,650百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		75.00		75.00	150.00
2020年3月期		75.00			
2020年3月期(予想)				75.00	150.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	2.5	353	3.2	315	2.4	220	10.2	154.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,440,000 株	2019年3月期	1,440,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	16,290 株	2019年3月期	16,290 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,423,710 株	2019年3月期2Q	1,423,710 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内経済は、雇用環境の改善が続き、個人消費や設備投資など内需が支えとなり、底堅い推移を続けてまいりました。一方で、米中間における通商問題をめぐる緊張の増大から、世界経済に与える影響が広がる中で、政治情勢も不確実性が高まるなど、景気は下振れリスクを抱え、企業収益にも陰りが見られる状況となりました。当社の主要な市場における建設関連業界におきましては、建設関連需要が、政策効果や都市部を中心とした再開発などの下支えもあり、底堅く推移してまいりました。しかしながら、材料価格や物流費用をはじめとするコストの上昇、及び労働者の不足感は解消されることがないことから、取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。こうした状況のもと、市場における適正な販売価格に向け、取り組みを進めてまいりましたことから、改善に繋がることとなりました。その結果、売上高は、34億47百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。

鋳鉄器材は、建築工事関連が低調なことから、雨水排水・防水関連製品は、やや低位な状況にありますが、外構、街路関連工事の改善から、外構・街路関連製品が増加し、9億28百万円（同1.6%増）となりました。

スチール機材は、外構・街路関連製品がやや増加しましたが、設備、土木工事関連の納入が低位な状況が続いていることから、5億59百万円（同5.4%減）となりました。

製作金物は、建築工事関連がやや低調な状況から、建築金物が減少しましたが、外構、街路等景観整備工事が堅調なことから、外構・街路関連製品が増加し、防災関連製品の納入が増えていることから、17億8百万円（同11.8%増）となりました。

その他は、公共投資がやや低調な状況が続き、土木需要が低下していることと、建機、機械向け製品の需要減少が継続した影響などにより、2億51百万円（同14.4%減）となりました。

利益につきましては、材料価格など高値状態が続いていることから、引き続きコスト環境は厳しい状況にあり、需要の伸びも低位にあることから、販売、及び生産活動における、原価率の改善に努めてまいりました。その結果、売上総利益は、11億58百万円（同6.4%増）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、運送に係る費用の上昇や、上半期におきましては施設の改善に伴う修繕費用の計上など、経費負担の増加はありますが、営業利益は81百万円（同112.0%増）となりました。営業外損益につきましては、低金利の環境が更に進むこととなり、収益の低い状況は変わらず、前年並みでの推移となりました。その結果、経常利益は62百万円（同193.8%増）となり、四半期純利益は36百万円（同583.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ2億3百万円減少し154億97百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ4億41百万円減少し116億84百万円となりました。その主な要因は、製品が60百万円、原材料及び貯蔵品が48百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が4億10百万円、受取手形及び売掛金が1億33百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2億37百万円増加し38億13百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の機械及び装置が2億52百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ1億31百万円減少し19億18百万円となりました。その主な要因は、流動負債が1億15百万円、固定負債が16百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ71百万円減少し135億79百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上が36百万円ありましたが、剰余金の配当が1億6百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内経済が外部要因である米中の貿易問題をはじめとする世界情勢の不安定要因が収まらず、拡大しており、その影響から先行への慎重さや不透明感が更に深まることとなりました。こうした状況から設備投資や企業収益にも調整感が現れるものとなりました。建設関連はオリンピック関連投資などが終息に向かい、需要がやや弱含みになることも予想されますが、当面の大都市圏を中心としたインフラ整備や再開発需要は引き続き底堅く推移することが見込まれます。このような環境のもと、ニーズに対応した新製品開発や市場開拓を進め、需要獲得に向けた営業活動と、社内における生産効率、生産性の向上を図り、製品毎の収益力の改善に取り組み、業績の向上に努めてまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,367,232	7,956,977
受取手形及び売掛金	1,275,769	1,141,943
電子記録債権	183,629	144,216
有価証券	1,300,000	1,300,000
製品	492,759	553,246
仕掛品	108,098	129,150
原材料及び貯蔵品	394,922	443,703
その他	17,780	28,140
貸倒引当金	△14,952	△13,173
流動資産合計	12,125,240	11,684,204
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,732,878	1,732,878
その他(純額)	1,441,703	1,682,760
有形固定資産合計	3,174,581	3,415,638
無形固定資産	7,719	11,020
投資その他の資産		
投資有価証券	72,010	70,739
その他	333,683	328,283
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	393,694	387,023
固定資産合計	3,575,994	3,813,682
資産合計	15,701,235	15,497,886
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	256,818	275,100
未払法人税等	111,903	35,786
賞与引当金	57,056	62,328
その他	275,316	212,521
流動負債合計	701,096	585,737
固定負債		
退職給付引当金	300,649	294,927
役員退職慰労引当金	481,785	468,743
その他	566,747	569,091
固定負債合計	1,349,182	1,332,763
負債合計	2,050,279	1,918,500

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,562,447	10,491,918
自己株式	△69,828	△69,828
株主資本合計	13,632,618	13,562,090
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,338	17,295
評価・換算差額等合計	18,338	17,295
純資産合計	13,650,956	13,579,385
負債純資産合計	15,701,235	15,497,886

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,326,882	3,447,970
売上原価	2,238,166	2,289,143
売上総利益	1,088,715	1,158,826
販売費及び一般管理費	1,050,161	1,077,088
営業利益	38,554	81,738
営業外収益		
受取利息	854	860
受取配当金	1,534	1,540
不動産賃貸料	9,472	9,359
その他	2,997	1,762
営業外収益合計	14,858	13,522
営業外費用		
支払利息	5,562	5,618
売上割引	24,249	25,073
その他	2,320	2,051
営業外費用合計	32,132	32,743
経常利益	21,280	62,517
税引前四半期純利益	21,280	62,517
法人税、住民税及び事業税	19,481	23,915
法人税等調整額	△3,508	2,352
法人税等合計	15,972	26,267
四半期純利益	5,307	36,250



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 1. 業績

科目	金額	前期比
売上高	34億47百万円	3.6%増
営業利益	81百万円	112.0%増
経常利益	62百万円	193.8%増
四半期純利益	36百万円	583.0%増
1株当たり四半期純利益	25円46銭	(前年同四半期 3円73銭)

## 製品分類別売上高の状況

製品分類	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
鋳鉄器材	928	26.9	1.6
スチール機材	559	16.2	△5.4
製作金物	1,708	49.6	11.8
その他	251	7.3	△14.4
合計	3,447	100.0	3.6

## 2. 配当

中間配当は、1株当たり75円を実施する予定であります。

## 3. 財政状態

総資産154億97百万円、純資産135億79百万円、自己資本比率87.6%、1株当たり純資産額9,538円03銭であります。

## 4. 通期(2020年3月期)の業績予想

区分	第2四半期累計期間(実績)		通期(予想)	
	金額(百万円)	前期比(%)	金額(百万円)	前期比(%)
売上高	3,447	3.6	7,500	2.5
営業利益	81	112.0	353	3.2
経常利益	62	193.8	315	2.4
四半期(当期)純利益	36	583.0	220	10.2

## 製品分類別売上高の計画(通期)

製品分類	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
鋳鉄器材	1,950	26.0	2.1
スチール機材	1,330	17.7	2.1
製作金物	3,660	48.8	3.7
その他	560	7.5	△2.1
合計	7,500	100.0	2.5

## 5. 設備投資及び減価償却費(有形固定資産)

	第2四半期実績	通期計画
設備投資額	3億83百万円 (自動溶接設備、鋳造関連設備等)	5億20百万円 (自動溶接設備、鋳造関連設備等)
減価償却費	1億42百万円	3億13百万円